

# 碧水だより

平成19年7月5日発行 第4号  
阿蘇市立碧水小学校 文責 麻生

清らかな碧水の心を育てるために

研究授業1年1組

古瀬先生  
嶋田先生

国語「すきなもの、おしえて」



二人組の相手に質問したこと・聞き取ったことをみんなの前で報告します。一つのお花に先生が書いてくれます。たくさんお花が並んで、「大好き村」にお花畑ができあがります。

自分の伝えたいことを、どのように話すかを考えます。先生方のヒントはとても参考になります。

古瀬先生と嶋田先生の絶妙な掛け合いで、学習のめあてが「おはなばたけをすきすきばなでいっぱいにしてしよう」ときまりました。押し付けでなく、自然と決まりました。

研究授業2年

赤尾先生

道徳「友達のことを考えて」



「ふわふわことば」を言われた経験を思い出しました。それを花のカードに書いて、先生から広用紙に貼ってもらいます。大きなふわふわのお花畑ができていきます。

「てつぼうきらい」という道徳資料の前半部分で「とんがりことばをいわれたらいやなきもちになります」という勉強をしました。今日は後半部分を読みました。その気持ちは、友達の優しい言葉かけに秘密がありました。周りのみんなを優しくする言葉、元気づける言葉を2年生では「ふわふわことば」と決め、ふだんから「ふわふわことば」を使うことにしました。

碧水小学校では国語の勉強や人権教育に力を入れています。6月は、3つの学級で研究授業が行われます。国語では「話し方名人・聞き方名人」を目指します。人権教育では、自分も友達も大切にしたいと思っています。知識だけでなく、生きて働く力に育てたいと思っています。

研究授業5年1組

田上先生

国語「インタビュー名人になろう」



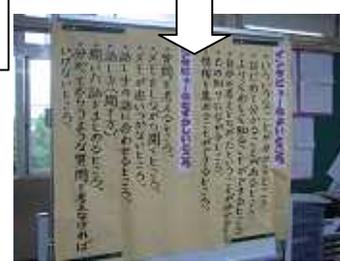
担任出演のビデオをモデルにし



これまでの学習計画表と



3バージョンポイントから



インタビューのよい点、むずかしい点から考え

校内大研  
5年1組

本時の学習のめあてが決まります。

学習のめあてが決まると、子どもたちは主体的に、能動的に学習に取り組みます。方法を話し合い、練習、録音。それを聞いては、班ごとに自己評価

